

◇学校関係者評価委員会での評価と意見◇

8月2日(金)に開かれた学校関係者評価委員会において、学校評議委員の皆様から、取組の評価とご意見をいただきました。

6つの重点項目に関するご意見と、委員会で確認した成果と課題について報告いたします。

確かに学力

- ・学力向上は学校の使命でもあるので努力の継続を求める。
- ・学習アンケートの項目の内容をどの児童にもわかるように説明をして、正確に理解できるようにしてほしい。
- ・学力調査の結果は地震の影響もあったのかもしれない。できたことを大いに認めて児童に自信を持たせてほしい。そうすれば、自分自身で考え学ぼうとする子が育っていくだろう。

豊かな心

- ・保育所や信号前でのあいさつや礼をする姿を見かける。見ていてとても気持ちがいい。
- ・地域や家庭でのあいさつ、特に家庭でのあいさつに関して定着具合が特に気になる。
- ・子どもたちは遊びを通して相手の気持ちを理解することが多い。その時々の相手の反応に応じて対処することで、相手を思いやる気持ちが育つと思う。

健やかな体

- ・ゲームやネットに関する結果について、さらに分析し注視していく必要がある。
- ・都会の子に比べ、能登の子の方が体力があるということは、今は言えないようだ。
- ・小規模校の特徴を生かし一人一人を見てあげてほしい。アンケート結果の数字より、少しでも子どもたちが成長できるよう見守ってほしい。

安心・安全な学校

- ・少人数学校で、教員と子どもたちの距離も近く、個に応じた指導も行き届くことが評価の結果につながった。
- ・震災後、避難所としての役割を担った学校に対する地域の信頼は言うまでもなく、子どものみならず保護者の方々の信頼も高いものがあると思う。
- ・安心安全な学校になるためには、教員が子どもの少しの変化も見逃さず、励ましたり褒めたり声をかけたりすることが大切である。

家庭地域との連携

- ・能登の地理的な環境を活用した学習は、「ふるさと教育」という意味においても、また郷土愛を育むという意味においても大切なことである。歴史的な環境にも恵まれた地域もあるので、この後の活用に期待している。
- ・学級便りやホームページでの情報発信については、保護者に十分に伝わっていると思われる。学級便り等に関しては、学級担任と保護者との信頼関係や意思疎通の問題もあると思われる。
- ・保護者の視点からしてみると、各便りで学校の情報を得ることが多いと思う。定期的な発信は必要である。

組織力向上と働き方改革

- ・小規模校であっても、校務分掌のほか校内研修や授業研究もあり、大規模校以上に多忙であろうと推測する。組織力向上の取組には全職員の団結が不可欠だと思う。頑張ってほしい。
- ・多忙化が進む中で、退勤時間に制限を求めるに、業務を家庭に持ち帰らざるを得ないという事態になるのではないか。校務支援システムを活用しても、なお追いつかないのが現状ではないか。職場レベルでの対処では限界があるのではないかと思う。

2 成果と課題

《成果》

- ・児童アンケート 13「友達と一緒に遊んだり、活動したりするのは楽しい」では 100%の肯定的な評価があり、児童は学校で友達と共に過ごす時間は楽しいと感じている。「うかわっ子の思いを形にプロジェクト」や各学校行事、総合的な学習の時間（海洋教育）などにおいて児童が主体となって思考し活動する場面が多く設定されていたことが肯定的な意見につながったと思われる。
- ・ICT を活用する学習に対して、児童も保護者も肯定的な評価が高かった。Chromebook 端末を日常的に利用し身近な学習用具の一つとなってきた。教員の ICT に関する研修も定例化されており、また日常的な課題について対応する研修も実施している。
- ・児童の生活面（はみがき・早寝早起き）に関する肯定的な評価が、児童も保護者も昨年度より上がっている。昨年度からの指導や個別の支援が実を結んできている。今後も継続的、計画的な指導を家庭と連携していく。

《課題と改善点》

- ・「確かな学力」「健やかな体」に関する項目において、昨年度と比較して低い項目がいくつか見られた。地震の影響もあると思われるが、児童の実態を把握し課題に応じた授業展開を全職員で行っていく。基盤となる学び方が体得できるよう、個に応じた指導や支援も取り入れていく。
- ・児童アンケートの 18「困ったことがあったら先生に相談できる」で 19. 5%が否定的な評価であった。今回のアンケート結果や心のアンケートなどを総合的に分析し見守る必要がある。今後はスクールカウンセラーによる定期的な個別の面談や日常的な声かけを行い相談しやすい環境を作っていく。
- ・震災後、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化した。安全や防災に関する児童への指導は、地域からの情報をもとに、適切に日常的に行われていくようにする。